

令和5年度北本市立 北小 学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		外部評価		
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の 適切さ	改善に向け た取組の 適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等
組織運営	1	自校は、学校教育目標の具現化に向けて、教育課程の編成、指導計画の作成等を工夫している。	100	○学年会の日課への位置づけについて今年度、金曜日の16:30~16:50を学年会の時間とした。実際には、学年会を実施するよりも個々の事務時間として活用されている場面が多く、ねらいとする時間の使い方はなっていないかった。	A	A	・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・短時間の学年会を連絡だけの時間とせず、担任などから意見を出家せる会議になるようにする。
	2	教職員は、PDCAサイクルのもと学級・学年経営や教科指導、校務分掌に工夫・改善しながらあつている。	95	一職員会議や職集は、日課の中に位置づけるだけでなく、月の行事予定や日報などでアナウンスをして確実に業務の遂行ができるようにしている。同様に、学年会も全職員へ周知徹底をし、学年主任をトップに学年として組織的に動けるようにする。	A	A	
	3	自校は、事故やトラブル等に対してのマニュアルを作成・提示・活用し、組織的に、かつ迅速に対応している。	100		A	A	
	4	自校は、すべての教育活動を通じて、教職員の共通理解のもと、組織的に生徒指導にあつている。	95		A	A	
基礎学力の徹底	5	児童生徒は、授業中、落ち着いた学習内容を理解しようとする姿勢が見られる。	100	○北小タイム(年20回設定)の活用について今年度は、児童の実態に合わせ各クラスで内容を考え取り組んだ。そのため、学校全体で取り組んでいるという意識の醸成につながらなかった。また、年度当初に予定した北小タイムの日に行事が重なったり、学力・学習状況調査のCBT化に向けた練習問題の取り組みが入ったりなど、児童にとって必要な時間ではあったが、年度当初予定していた北小タイムの使い方は異なる場面もあった。	A	A	・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・CBT化に向けての対策を行うとあるが、将来的にタブレットやパソコンを用いてテストを行うようになっていくのか気になります。 ・北小タイムを有効に使うためしっかりテーマを決め共通理解の上、取り組ませる。
	6	教員は、学力の向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて日々の授業改善に努めている。	95	一年度当初に学校としてテーマを決めて取り組む。 (1年:漢字・算数プリント 2年:うつ丸 4年:ことばさがし 高学年:新聞の要約等) 一CBT化に向けての対策を行う(ローマ字打ちなど情報活用能力の向上)	A	A	
	7	基礎学力の定着や授業規律の徹底など、教職員の共通理解のもと学習指導にあつている。	100		A	A	
	8	教職員は、児童生徒に家庭学習を定着させるために、家庭に積極的に働きかけるなど工夫している。	100	○スマイルドリルの活用について今年度、始めてスマイルドリル(学習用タブレット端末上で行うドリル)を活用した。便利な点とそうでない点が見えてくる場面があつた。	A	A	
規律ある態度の育成	9	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつができる。	63	【あいさつ・言葉遣いについて】毎年、課題として挙げられているが劇的な改善にまでは至っていない現状がある。一即効性のある取り組みはないと考える。その都度、褒めて評価し、根気強く声かけを継続する。	B	B	・あいさつの習慣は、すぐに改善できるものではないと思いますので、根気強く指導を続けることが大切だと思います。 ・第4回の学校運営協議会后、朝の通学班を注意深く見てみました。協議会でのお話に出ていたとおり、班長さんが率先して挨拶している班はみんなきちんとあいさつできている様子。班長さん、副班長さんに、挨拶の習慣があるといひです。
	10	児童生徒は、各学年の発達段階に応じた場に正しい言葉遣いができる。	74	一縦割り班活動であいさつの仕方について話し合う。高学年が低学年にあいさつし、手本となる場面を設定する。 一言葉の使い方についてTPOを意識させたり、学校での友達の呼び方を「○○さん」に統一するなど、言語環境を整える。	B	A	・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・あいさつや言葉遣いについて改善が見られないのは保護者も意識しているところなので、今まで以上に地域、家庭に呼びかけても良いのではないのでしょうか。 ・令和5年度の重点「自分からあいさつ」の達成に向けての具体的な取組が評価されていない。 ・規律ある態度の育成の評価が低い(あまりできていない)が、言葉づかい以外の要素が評価されていない。 ・子供同士の「さん付け」の呼称は徹底が難しい。努力目標で良いのでは。
	11	児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	100		A	A	・あいさつの指導(?)は難しいです。心の通い合いに通じるものであり、生きてきた過程のあらわれと思います。続けるしかないです。 ・現状の認識から、満足できるほどではないと感じられる。全校で取り組んでいく意欲的な働きかけがあつた方が良いと思われる。
	12	教職員は、すべての教育活動を通じて、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	100		A	A	
健康・体力	13	児童生徒は、体力の向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。	84	○体力について新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受けて、児童は外で元気に遊ぶ姿が散見されるようになった。一方で、日課変更によりコロナ禍前に取り組んでいた朝運動がなくなつたため、授業時間以外の運動量が減少した。 一休み時間の体育館の開放をする。(大谷選手からのグループを使って体育館で運動したことがあつた。そのときのように、クラスを割り振って遊べる環境をつくる) 一授業中に運動量の確保のための活動を学校全体として行う。(北小体操の内容をピックアップして行うなど)	A	A	・コロナ期間の影響もあると思いますが、放課後、外遊びをする子供達が年々減少しているように感じます。習い事を複数する子供達が増えたり、疲れたと言って家でのおんびり過ごすとか、周りから聞きます。体力の低下を昔と比べて感じます。学校にいる時間帯、できるだけ外遊びをすすめ、体力アップにつながればと思います。 ・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。
	14	自校は、児童生徒の健康及び安全についての意識を高めようとして努力している。	100		A	A	・運動する時間や機会が減つたのならば、その分、運動の質を上げていかなければいけないと思う。 ・当初目標の「3・5分間走」の成果が書かれていない。 ・体力向上には「授業改善」がまず必要。 ・楽しい遊びを教え、外遊びができるよう工夫する。 ・外の遊び方を知らない子、親も増えてきていると思われます。大変な時代です。 ・全校で取り組んでいく意欲的な働きかけがあつた方が良いと思われる。

保護者・地域・異校種間連携	15	自校の教職員は、PTA活動や地域活動等に積極的に協力している。	90	【PTA活動について】 昨年度と同様、一部の職員に偏りが見られる現状は、劇的に改善することが難しい状況であった。令和5年度3月号のPTA広報誌の確認では、全職員で原稿チェックを行ったところ、職員は協力的であった。一役割を明確にし、全職員が関われる組織づくりを進めていく。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動は、保護者同様、先生方の考え方様々で全職員が同じ方向を向いて活動するのはやや困難。しかし、何かに関わることによって考え方に変化が出たりします。原稿チェックを全職員でやったことをきっかけに他のPTA活動にも関わられたらよいと思います。広報だけではなく、総務や生活部、何かしら関わられそうな小さなことでも役割にするとか。 ・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・学校行事などで保護者や地域と協力でき、今まで以上の関係づくりができればと思います。 ・保護者、PTA活動にはいつも教員として感謝の気持ちを忘れないようにする。 ・外部連携については、校内においては知っている人だけ知っている、やっていることを何とかして発信していくことが求められます。その良き方法について検討を続けることが大切。
	16	自校は、各種たよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	100		A	A	
	17	自校は、保護者や地域と連携し不審者対策のパトロールや声かけ運動などの計画を立てて定期的の実施している。	95		A	A	
	18	自校は、異校種間(幼保小、中高等)の連携を積極的に推進している。	95		A	A	
学校独自の項目	1	教職員は、道徳授業の充実を図っている。(自分と他人を大切にす心の醸成)	100	○掃除について 昨年度の反省をもとに清掃後の反省会をするようにしたが、形骸化して、児童が振り返る時間となっていなかった状況も見られた。また、掃除の終了を担当の教員による見届けが徹底しないときもあった。 一あらためて、全体で共通理解を図り、衛生的な学習環境を整えていく。担当による見届けを徹底する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・水拭きの雑巾をバケツに水をはってゆすいでいない → きちんと指導されていると思います。正直、この辺は家庭で普通に覚えることだと思っていただけに驚いてしまいました。ご家庭でも生活の中で指導していただくと良いと思います。 ・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・清掃活動の反省会が形骸化しているとの反省があるが、清掃そのものはきちんと行われているのか。(そのための反省会であるはず) ・児童の情報については、今後も職員が共有し、全職員の問題としてとらえていくことが必要。 ・小学校での指導のおかげで、本校での反省会はよくやっている(運営されている)ように感じます。
	2	教職員は、児童へ明るい挨拶の励行を行っている。	100		B	A	
	3	教職員は、清掃指導の徹底(清掃方法、反省会の統一)を行っている。	84	○生徒指導・教育相談体制の充実について 毎週水曜日の職集の時間において、生徒指導上配慮が必要な児童の情報や現在進行中の案件について、情報共有するとともに、教職員の共通理解事項について確認を行った。また、月に1回、生徒指導委員会を開き、各学年の生徒指導・教育相談情報の交換や、対応が必要な生徒指導案件のケース会議等を行った。 一不十分であると感じている職員がいることを真摯に受け止め、各職員の役割分担やこまめなケース会議の実施など、全職員が同じ方向を向いて生徒指導にあたるようにしていく。	A	A	
	4	教職員は、生徒指導・教育相談体制の充実(共通理解の徹底)を図っている。	95		A	A	
	5	教職員は、hyper-Q調査を活用した居場所・充実感のある学級づくりを行っている。	95		A	A	
	6	教職員は、スマイル学級児童と通常学級児童の交流学習の充実を図っている。	100		A	A	
	7	教職員は、学習規律の確立(授業準備、姿勢、声量、返事、言葉遣い等)を行っている。	100	○北小タイム(年20回設定)の活用について 今年度は、児童の実態に合わせ各クラスで内容を考え取組んだ。そのため、学校全体で取り組んでいるという意識の醸成につながらなかった。また、年度当初に予定した北小タイムの日に行事が重なったり、学力・学習状況調査のCBT化に向けた練習問題の取り組みが入ったりなど、児童にとっては必要な時間ではあったが、年度当初予定していた北小タイムの使い方は異なる場面もあった。 一年度当初にテーマを決めて取り組む。(1年:漢字・算数プリント 2年:うつ丸 4年:ことばさがし 高学年:新聞の要約等)	A	A	
	8	教職員は、思考力・判断力・表現力を高める指導方法の工夫(協働的な学びの充実)を行っている。	100		A	A	
	9	教職員は、「正解」ではなく「自ら考えを」発表し合う授業を行っている。	100		A	A	
	10	教職員は、エビデンス(アンケート、各種学力・学習調査等)に基づく指導方法の工夫改善を図っている。	100	一CBT化に向けての対策を行う(ローマ字打ちなど情報活用能力の向上)	A	A	
	11	教職員は、学力向上対策としての北小タイムの活用を行っている。	90		A	A	
	12	教職員は、家庭学習に係る取組の充実(「手引き」活用と「振り返り週間」の実施)を図っている。	100		A	A	
	13	教職員は、運動の特性や魅力を味わわせる体育授業の充実を図っている。	90	○体育授業の充実について コロナ禍が明け、改めて児童の基礎体力の低下が顕著であった。また、運動の理解や運動の表現を楽しめるような授業展開となるよう授業改善が必要な場面もあった。 一まずは、校内で体育の研修会を行い、教師の指導力の向上に努める。	A	A	
	14	教職員は、体力(3・5分間走)と運動の技能を高める指導と工夫を行っている。	100		A	A	
	15	教職員は、防災意識を高める避難訓練の工夫(実効性のあるマニュアルと応用)を行っている。	95	○避難訓練の充実について 地震・火災・不審者など児童を取り巻く環境で想定される災害等を想定し、安全を確保するための訓練に終わりはないと考える。 一消防署や警察、警備会社や防災設備会社など、他機関連携を行い、児童にとって教育的効果が高い避難訓練を模索していく。	A	A	
	16	教職員は、命を守る自助の力を高める安全教育(閉門扉・一時停止・ハンドサイン)を行っている。	100		A	A	
	17	教職員は、定期、臨時の安全点検の実施(多面的・多角的な視点)を行っている。	100		A	A	

18	教職員は、「報・連・相」の徹底を行い、本校は、組織で対応する体制の整備を行っている。	95	○「働き方改革」の本質に迫った業務改善について 前例踏襲を根本的に見直し、行事の精選や内容の変更を段階的にやってきた。また、なんでも簡略化や簡素化するだけでなく、児童にとって行事はどうあるべきかを考え、実施してきた。 一負担に感じている職員がいることを真摯に受け止め、今後も行事のあり方について検討していく。 一実際に体験しないとわからない内容や直接話を聞かないと教育効果が薄れるものと、ICT機器を活用し、より手軽に実施できるものを精選し、負担は少なく教育効果が高い方法を模索していく。	A	A	・働き方改革によって、以前より就業時間が減ったことで、見直しの良い機会になったと思います。時代の変化に沿った改革は必要。その改革がしっかりされているようで良いと思います。ただ、行事は児童達の楽しみでもあるので簡素化しすぎぬようにしてほしい。バランスですね。 ・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・課題研究に対する取組に対して「よくできている」が36.8%と低い。職員の理解が低いことを改善すべき。 ・学校における働き方改革の本質に迫った業務改善の実施について、「よくできている」が10.5%と低い。個々の事情をしっかりと聞きとり、個別の改善策を管理職とともに立てる必要がある。 ・本質を勘違いされないようにしていくことがとても難しい時代になってきました。
19	本校は、学校課題研究に対する組織的な取り組みを行っている。	95		A	A	
20	教職員は、互いに尊敬し、ともに高めあえる職場づくりを行っている。	95		A	A	
21	本校は、ライフステージに応じた研修機会の設定を行っている。	95		A	A	
22	本校は、教育技術や思いを若手に引き継ぐ体制の整備（授業公開週間の実施）を行っている。	95		A	A	
23	本校は「学校における働き方改革」の本質に迫った業務改善の実施を行っている。	95		A	A	
24	本校は、「教職員事故0」を継続するための取組をしている。	100		A	A	
25	本校は、「学校4・3・2制」を基盤とした教育活動の推進を行っている。	73	○「学校4・3・2」を基盤とした教育活動の推進について 三ヶ年の研究の一年目となる。様々な面で交流を行っているが、学校課題研究での交流については、意識が高まっていない状況が見られた。 一今後、研究が進むにつれて交流はさらに盛んになってくることが考えられるが、全職員が学校4・3・2制を意識し教育活動を行えるよう、それぞれの交流事業の意義を確認していく。	A	A	・「学校4・3・2制」はとても興味があります。今後に期待。1年目で足りないと感じた部分を具体化し、改善することで一歩前に進む。2年目、3年目の成果が楽しみです。 ・概ね適切に評価されています。 ・改善策を確実に実践して頂き、来年度更なる向上を期待します。 ・「学校4・3・2制」研究の1年目というのもあって職員の意識が高まっていないというのもある程度は仕方ないと思います。今後、さらに交流を重ね、児童・生徒達の学力向上につながると思います。 ・保護者の協力を得て、家庭においても元気な挨拶を交わせる習慣づけをお願いします。 ・まさに同感です。発信、情報共有、共通行動、行動連携です。 ・近隣の幼稚園保育園との交流を、進めてほしい。
26	本校は、PTA執行部との連携を図っている。	100		A	A	
27	本校は、学校応援団等による地域の教育力の導入を行っている。	95		A	A	
28	本校は、課題解決に向けた関係機関との連携を図っている。	100		A	A	
29	本校は、幼保小連携を行っている。	95		A	A	
30	教職員は、あいさつ・言葉遣いに関する保護者との連携を図っている。	95		A	A	
来年度の重点目標（共通項目・学校独自項目の評価結果を踏まえて）			学校運営協議会の総評			
<p>【検討会議・学力グループより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北小タイム（年20回設定）の活用 →学校としての方向性を明確にしながら取り組む ・スマイルドリの効果の検証（良い点も悪い点もあり） →学習用タブレット端末のメリットとデメリットの認識と紙媒体とデジタルの使い分け <p>【検討会議・規律ある態度グループより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの声かけ →繰り返しの指導と機会をえらった賞賛や評価 ・清掃活動による学習環境の整備 →清掃の流れの統一（共通理解）と担当教師による見届け ・丁寧な言葉遣いについて ・TPOを意識させる <p>【検討会議・体力グループより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上について →休み時間の体育館の開放など運動好きになるための工夫と体育授業の充実 			<p>・執行部をやっていた時から12年…小学校の変化に驚いた1年でした。 ・時代の変化、コロナ禍による変化様々ですが、北小学校さんは、全てにおいてしっかり取り組まれ素晴らしいと思います。 ・和泉校長先生をはじめ先生方がとても元気な印象を受けます。来年度も変わらぬご指導よろしく願います。 ・学校運営協議会における評価ですが、授業や職員会議等の内容が確認出来ない状態で評価すること自体に無理が生じている。この評価そのものが形骸化していると思われる。 ・基本的に自己評価と改善策は例年と同様に感じる。抜本的な改善策も取れない状態のため、変化が見られないと感じる。 ・以前にもお伝えしたが、あいさつや掃除に関しては児童への働き掛けだけでなく、保護者への働き掛けが不足しているように感じる。また、誠実性についても家庭、学校が一体となって危機感を感じながら、児童へ教育していく必要がある。 ・また、保護者が学校に望むものは、学習における環境の担保と考える。学習における環境とは、安全管理、授業環境と考える。一部授業を妨げる児童が一定数いることは承知しているが、他の児童が学ぶ機会を妨害してしまうことは防いで頂きたい。 ・また、今年度の授業参観では日頃の授業を拝見するものではなく、特別授業の参観であると感じた。これは、他の保護者からも疑義が出ており、作られた授業ではなく、普段の授業が見たいという意見を頂いている。 ・最後に見える化が当たり前になった昨今、ありのままの学校の状態を拝見させて頂くことで運営協議会として正当な評価に繋がると感じており、教育委員会等とも協議し検討、改善していくことが喫緊の課題である。 ・働き方改革、アフターコロナ等の要素から、教育現場のあり方においても過渡期を迎えたと感じています。どの職業も高効率求められる社会になっていますが、是非、非効率であっても人間育成の場として小学校は必要不可欠ですので、前向きな姿勢で職務を全うして頂くようお願い致します。 ・概ね適切に自己評価されていると感じました。 ・北小タイムの活用やあいさつの声かけなど、来年度に向けての目標も立てられていて安心しました。</p> <p>・ただ、働き方改革について、職員の負担についての記述がありましたが、学校運営協議会の活動が職員の皆様にとって負担になっていないかという不安もあります。そのようなことがあれば改善していかなければいけないと感じました。 ・保護者からの感謝の気持ちがたくさん述べられていることや、職員のアンケートからのおおむね「達成されている」結果などから、学校運営は非常に成果を上げていることがうかがえる。校長が代わった今年、さらにその評価が上がっている。 ・保護者の少数ではあるが、PTA不要論がある。PTA活動は面倒と思うが、やってみると友人ができた、学校の様子が今まで以上にわかったり、いい点がたくさんあり、教師とともに子供たちの成長に立ち合える良さを理解してもらえるとよい。 ・職員の中に業務を負担に感じる者がいる。詳しく聞き取り、解決に向けた努力をすべき。 ・「体力向上」「あいさつ」「北小タイムの有効活用」を続けて目標としていくことが必要だ。 ・挨拶や言葉遣い、学習への働きかけに、改善の余地があると気づいているのではないかとと思われる。 ・幼保小連携を重視する昨今、現場サイドからも、幼稚園や保育園との交流の働きかけがあってもよいと思う。また、職場の負担感の軽減と公平感を意識した方がよいようです。 仕事内容を吟味し、枝葉の部分は削ぎ、教育の場としての幹を残すことが必要と思われる。</p>			

<p>北本市立北小学校 学校運営協議会(敬称略)</p> <p>会長 磯崎 雅彦 委員 大保木 道子 委員 清水 宏典 委員 菅野 由香 委員 山本 浩之 委員 若山 清和</p> <p>委員 野本 慶人 委員 和泉 健 委員 田中 雅之</p>	<p>外部評価実施日</p> <p>第1回 令和5年 5月16日(火) 第2回 令和6年 1月26日(金) 第3回 令和6年 2月27日(火)</p>
--	---

***「自己評価の適切さ」について**

A:適切な評価である B:ほぼ適切な評価である C:やや不適切な評価である D:不適切な評価である

***「改善に向けた取組の適切さ」について**

A:十分な効果が期待できる B:ほぼ十分な効果が期待できる
C:あまり効果が期待できない D:効果が期待できず改善を要する

***学校の取組に関する評価と今後の改善点等について**

- ・評価項目ごとの取組状況に対する評価や今後に向けての要望等を記入する。
- ・自己評価書の項目を網羅的に評価するのではなく、「自己評価の高かった(低かった)項目」や「今年度の重点的な取組」に絞って記入する。

***その他全体的な留意点**

- ・外部評価書は1枚にまとめる必要はありません。(2枚以上可)
- ・共通項目と学校独自の項目を別様に作成してもかまいません。
- ・学校独自の評価項目、評価項目数は、各学校で決めてください。
- ・学校運営協議会の総評欄は、共通項目、学校独自の項目の両方を踏まえての総評を記入してください。